

倉田哲郎

くらたてつろう



箕面のまちづくり、いちだんと加速！

倉田哲郎のプロフィール

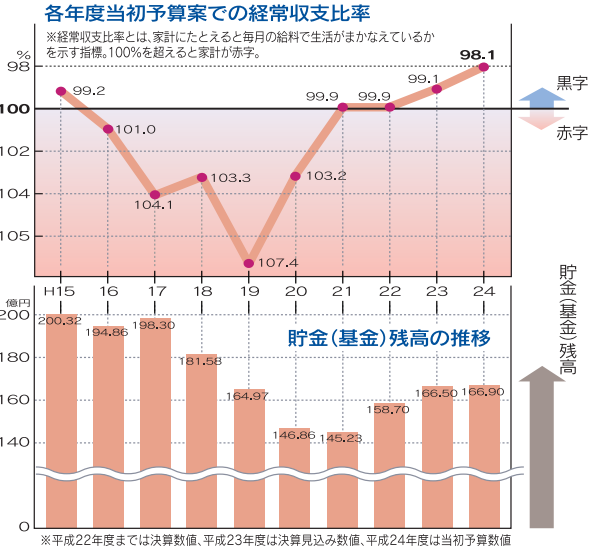
- 昭和49年 静岡県清水市(現・静岡市)生まれ
- 平成 9年 東京大学法学部卒業
郵政省(現・総務省)入省
- 平成15年 箕面市役所に勤務
- 平成18年 総務省に戻る
- 平成20年 総務省退職
- 平成20年 34歳の若さで
箕面市長に初当選(当時全国最年少)
- 平成23年 大阪府市長会 副会長
- 平成24年 全国市長会 理事

- ◎特技/ 日本泳法(水府流太田派)
日本水泳連盟主催の
全国大会では団体戦優勝
- ◎趣味/ ベースギター
- ◎好きな言葉/
「為せば成る
為さねばならぬ 何事も」(上杉鷹山)
- ◎家族は、箕面で出会った妻と、箕面で生まれた二人の息子

くらた 倉田哲郎 てつろう

[財政V字回復の実績] 信頼を裏づけ。行政改革のその先へ。

連続の赤字決算という瀕死の財政状況を前市長から引き継いだ倉田市政でしたが、就任直後から市民サービスへの影響を最小限に抑えつつ、徹底した行財政改革を進め、みごとに財政のV字回復を達成し、貯金(基金)を増やし借金(市債)を減らしつつ、さらに経常黒字を達成するところまで好転させました。その際、なんでも一律に財政カットするだけなら誰でもできますが、将来を見据えてメリハリをつけた積極投資を行っています。まさに1期目4年間の実績が信頼の裏付けです。



子どもたちにツケをまわさない、未来を意識した市役所運営！

- ★赤字体質からの完全脱却と、箕面市財政の完全黒字化を実現し、スリムで持続可能な機動力ある箕面市役所にします。
- ★人件費の削減と公務員気質からの脱却のため、職員の給与構造を、世間で当たり前の「頑張る職員には報い、頑張らない職員には「一切」報いない」仕組みに変えます。

民間ができるなら市役所でも、もう一つ上の市民サービスへ

- ★市役所窓口の営業日を土曜日にも拡大。市役所でのパスポート取得・更新手続きの開始など、身近で便利なサービスを展開。
- ★小野原と北部地域に図書館を増設。徹底的な経営改革で財政支出を拡大させることなく、サービス向上も果たします。

箕面のことは箕面で決める、より納得のいく地方自治を！

- ★他の市町村をリードする発信力で、国・大阪府に対してもモノ申し、地域の実状に即した地方自治の確立をめざします。

世間一般的に、選挙の政策集には、総花で財源の裏づけのないものも多く散見されます。しかしながらこの政策集は、ある程度の財源の裏づけや実現可能性を意識してまとめました。

例えば、子どもの医療費助成の大幅拡大には多大な費用がかかりますが(年間約2億円増)、これにはすでに予定済みの箕面・稲保育所の民営化による財政削減(年間約2億円)を充てる意図でいます。このように、行政改革の項目で掲げる「箕面市財政の完全黒字化」という約束と矛盾させることなく、すべての政策を実現させるつもりです。

これが本当かどうかは、4年前の政策集の約束をほとんど実現させながら、財政を再建し、貯金(基金)の積み増しまで行っている4年間の実績からもご推察いただき、ご判断いただきたくお願い申し上げます。



★みなさまの声をお聞きして反映させ、時代にあわない行政の仕組みは積極的に改め、市民が納得できる行政を展開します。

安心・支えあい最優先!!

- ◎ **地域の力を結集し、高齢者のいきがいと安心を支えます!**
 - ★「新・松寿荘」や新たな「子育て支援センター」を拠点として、高齢者や子育て世代の支援と、幅広い世代間の交流を進めます。
 - ★「水戸黄門歩こう会」「箕面シニア塾」など、歴史・文化資源も活用した高齢者の健康づくり・いきがい創出の場を拡大します。
- ◎ **高齢者から子どもまで、病気の予防と健康づくりを進めます!**
 - ★府内で唯一の「がん検診の無料化制度」を継続。「滝道ウォーキング」の振興など、箕面市ならではの健康づくり活動を展開します。
 - ★市立病院は市民の誇り。府内公立病院で第2位の実績を有する大腸がん内視鏡手術など、実力とサービス充実によるお客様拡大で経営を黒字化します。
- ◎ **ハード・ソフト両面にわたり、徹底的な災害対策を実行します!**
 - ★小学校区ごとの「地区防災委員会」を組織するほか、避難所・地域防災の仕組みを再編し、“本当に機能する防災体制”をつくります。
 - ★毎年1月17日の全市一斉総合防災訓練や、「防災運動会」を展開。自治会への参加拡大や、日ごろからの防災意識を促します。

子育てしやすさ日本一!!

- ◎ **子どもを安心して育てるための支援を強化します!**
 - ★子どもの医療費助成の対象を、中学校卒業までに大幅拡大。通院・入院とも所得制限を設けず、子どもたちの健康を守ります。
 - ★小学校卒業までの子どもたちへの、インフルエンザ予防接種の助成をスタートします。
 - ★通学路を中心に道路の安全対策を講じるほか、公園遊具の整備など、街なかで子どもたちが安全安心に過ごす環境を強化します。
- ◎ **子育てを楽しみ、仕事と両立できる育児環境を整備します!**
 - ★豊川支所を子育て拠点「キッズセンター」としてリニューアル。全中学校区への子育て支援センター(全8ヶ所)を展開します。
 - ★保育所の定員拡大や、子育て応援幼稚園の充実など、仕事と子育てを両立するための選択肢を増やします。



◎ 「子どもの成長」を最優先にした教育力の再構築!

- ★小・中学校9学年を対象に、きめ細やかな「知・徳・体」調査を行い、毎年の授業・指導を見直し・進化させるサイクルを確立します。
- ★勉強・スポーツ・遊びを選んで楽しめる「新たな放課後(=新・学童保育)」を創設。子どもたちの自由な成長を促します。
- ★箕面市の国際協力都市、ニュージーランド「ハット市」は“時差の少ない英語圏の都市”。リアルタイムの学校間インターネット交流により、“活きた英語力”や国際性を養います。

◎ 緑・住みやすさ最先端!!

◎ 山のみどりを守り、まちのみどりを育てます!

- ★山麓部の建築規制の見直しと、市民緑地の拡大により、箕面のシンボル「山のみどり」を守るほか、彩都の大斜面の緑を復元します。
- ★「緑視率」(景色に占める草木の緑の割合)を景観基準として新たに導入し、緑豊かな安らぎの街並みを広げます。

◎ まちなかの農地を保全し、田園景観を守ります!

- ★箕面市版「農業公社」の創設など、生産基盤の充実、担い手の育成、朝市での販路拡大などを複合展開し、都市農業を強化します。
- ★止々呂美に「田園景観保全地区」を指定するほか、新稲・芝・石丸・粟生間谷など、農業エリアについて田園景観を守り育てる仕組みをつくります。

◎ 自動車に頼らず生活できる、便利で活力のあるまちづくりを進めます!

- ★北大阪急行線の延伸に着工し、都心部へのアクセスを強化しながらバス交通網を再編。箕面全域の交通利便性を飛躍的に高めます。
- ★桜井駅前地区の再整備に着手。あわせて、老朽化した箕面駅前の駐車・駐輪場をPFI(民間事業)により建替え整備します。

